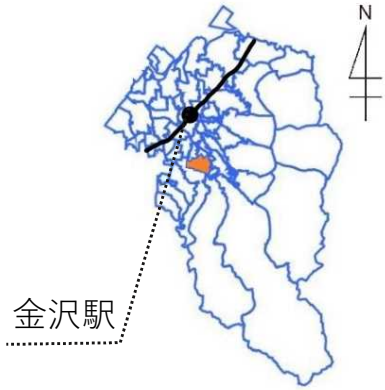


長坂台校区

国勢調査から見える校区のすがた

ひとめでわかる



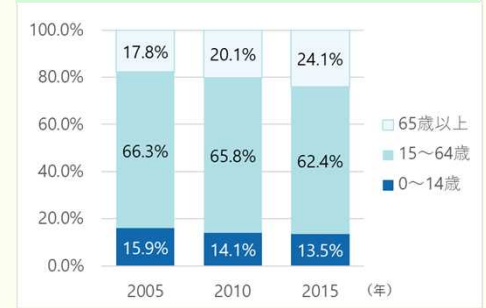
1 人口・世帯数



2 年齢3区分別人口



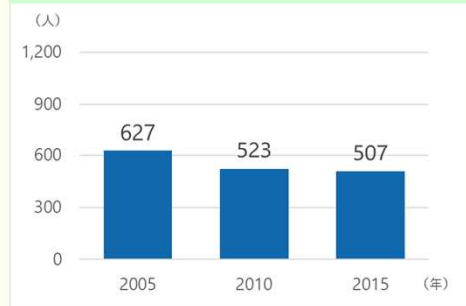
3 年齢3区分別人口割合



4 1世帯当たり人員



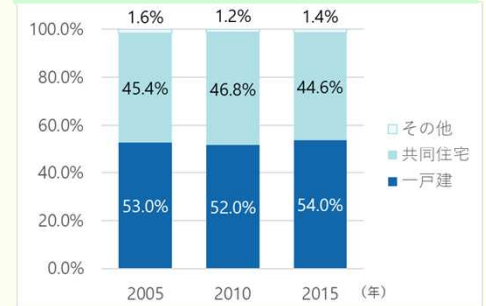
5 校区在住児童数[6-11歳]



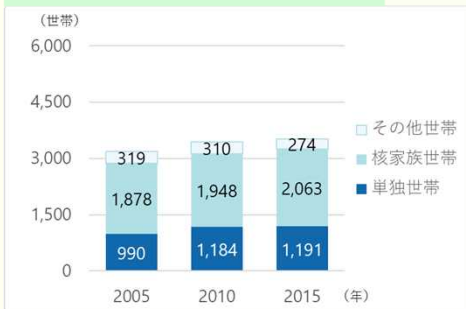
6 高齢世帯数



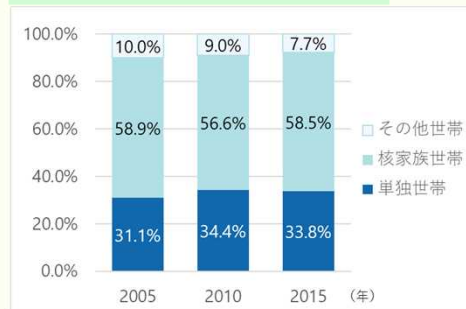
7 住宅の建て方割合



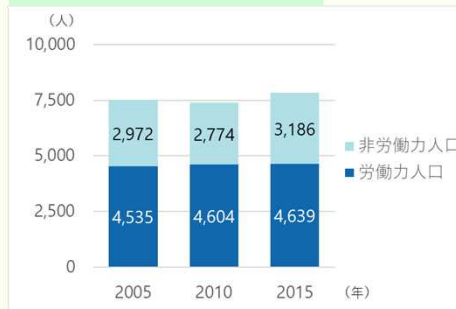
8 家族類型



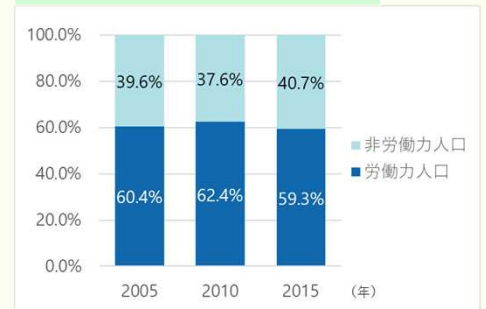
9 家族類型割合



10 労働力人口



11 労働力人口割合



準備中

※ 国から提供される2020年国勢調査の詳細結果を踏まえ、2022年8月頃に公表予定です。

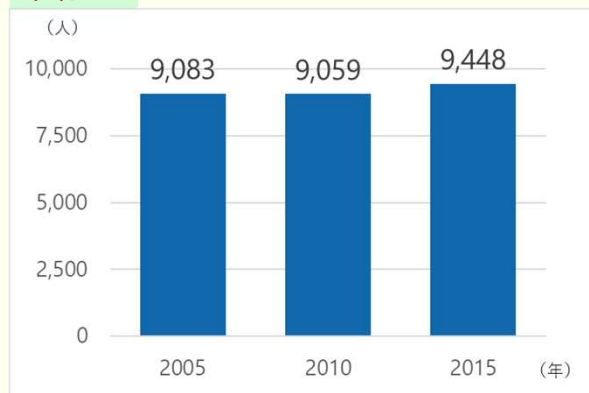
I 概要 人口 9,448人 2010年に比べ+389人

2015年国勢調査による10月1日現在の長坂台校区の人口は9,448人で、2010年に比べ+389人となっている。
世帯数は3,555世帯で、2010年に比べ+90世帯、1世帯当たり平均世帯人員は2.66人で、2010年に比べ+0.05人となることから、世帯規模が拡大していることがわかる。

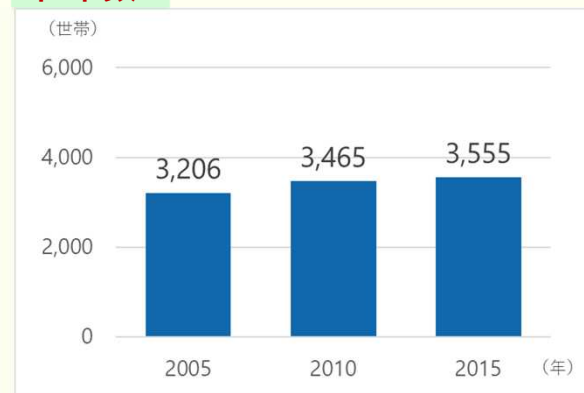
人口（男女別）及び世帯数

年	人口[人]					世帯[世帯]			
	総数	増減数	増減率	男	女	総数	増減数	増減率	1世帯当たり 平均世帯人員[人]
2005	9,083	—	—	4,665	4,418	3,206	—	—	2.83
2010	9,059	▲24	▲0.3%	4,589	4,470	3,465	259	8.1%	2.61
2015	9,448	389	4.3%	4,712	4,736	3,555	90	2.6%	2.66

人口



世帯数



2 人口 65歳以上人口が増加

年齢3区分別人口をみると、0～14歳人口は1,265人、15～64歳人口は5,831人、65歳以上人口は2,255人で、構成比はそれぞれ13.5%、62.4%、24.1%となり、2010年に比べ、人口、構成比ともに0～14歳人口と15～64歳人口は減少、65歳以上人口は増加している。2010年との比較を増減数[増減率]でみると、0～14歳人口は▲2人[▲0.2%]、15～64歳人口は▲76人[▲1.3%]、65歳以上人口は+449人[+24.9%]となっている。

また、年齢3区分別人口の構成比の推移をみると、0～14歳人口と15～64歳人口の構成比は一貫して減少し続けており、65歳以上人口の構成比は一貫して増加し続けている。

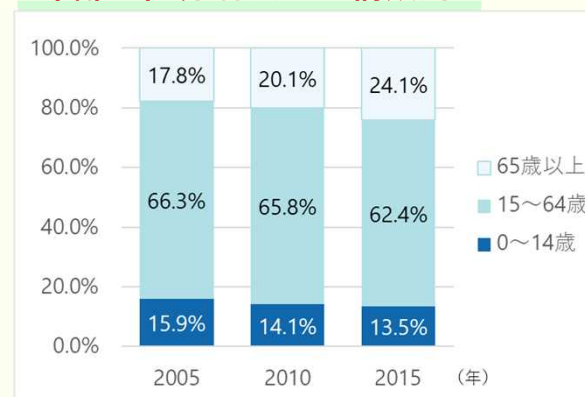
年齢3区分別人口 ※総数には年齢「不詳」を含む

年	人口[人]				構成比				増減率			
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
2005	9,083	1,441	6,018	1,621	100%	15.9%	66.3%	17.8%	—	—	—	—
2010	9,059	1,267	5,907	1,806	100%	14.1%	65.8%	20.1%	▲0.3%	▲12.1%	▲1.8%	11.4%
2015	9,448	1,265	5,831	2,255	100%	13.5%	62.4%	24.1%	4.3%	▲0.2%	▲1.3%	24.9%

年齢3区分別人口



年齢3区分別人口の構成比



3 世帯 2人世帯、3人世帯が増加

(1) 世帯数及び世帯人員

一般世帯数は3,528世帯で、増減率の推移をみると、2010年が+8.0%、2015年が+2.5%と一貫して増加し続けている。

世帯人員別の増減率をみると、1人～3人世帯、5人世帯が増加している一方、4人世帯、6人以上の人員の世帯は減少している。

また、世帯人員別の構成比は、1人世帯が33.8%と最も大きく、次いで2人世帯、3人世帯と、世帯人員が多くなるほど小さくなっている。

世帯人員別一般世帯数

年		総数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
一般世帯数 [世帯]	2005	3,187	990	795	572	560	186	61	23
	2010	3,442	1,184	879	628	520	172	40	19
	2015	3,528	1,191	945	646	515	176	38	17
構成比	2005	100%	31.1%	24.9%	17.9%	17.6%	5.8%	1.9%	0.8%
	2010	100%	34.4%	25.5%	18.2%	15.1%	5.0%	1.2%	0.6%
	2015	100%	33.8%	26.8%	18.3%	14.6%	5.0%	1.1%	0.4%
増減率	2005	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	8.0%	19.6%	10.6%	9.8%	▲7.1%	▲7.5%	▲34.4%	▲17.4%
	2015	2.5%	0.6%	7.5%	2.9%	▲1.0%	2.3%	▲5.0%	▲10.5%

3 世帯

(2) 世帯の家族類型

一般世帯数について、その世帯主と世帯員の続柄により家族構成を類型化（家族類型）してみると、「核家族世帯」は2,063世帯と、一般世帯の58.5%を占めており、2010年に比べ+115世帯[+5.9%]となっている。また、世帯人員が一人の「単独世帯」は1,191世帯で、2010年に比べ+7世帯[+0.6%]となっている。

世帯の家族類型別一般世帯数

年		総数	単独世帯	核家族世帯	その他の世帯
一般世帯数 [世帯]	2005	3,187	990	1,878	319
	2010	3,442	1,184	1,948	310
	2015	3,528	1,191	2,063	274
構成比	2005	100%	31.1%	58.9%	10.0%
	2010	100%	34.4%	56.6%	9.0%
	2015	100%	33.8%	58.5%	7.7%
増減率	2005	—	—	—	—
	2010	8.0%	19.6%	3.7%	▲2.8%
	2015	2.5%	0.6%	5.9%	▲11.6%

3 世帯

(3) 高齢世帯

一般世帯のなかで、「高齢単身世帯」は406世帯で、2010年に比べ+62世帯[+18.0%]であり、一般世帯の11.5%を占めている。また、「高齢夫婦世帯」は347世帯で、2010年に比べ+58世帯[+20.1%]であり、一般世帯の9.8%を占めている。

高齢世帯数

年	一般世帯数 [世帯]	高齢単身世帯 [世帯]	一般世帯に 占める割合	増減率	高齢夫婦世帯 [世帯]	一般世帯に 占める割合	増減率
2005	3,187	298	9.4%	—	272	8.5%	—
2010	3,442	344	10.0%	15.4%	289	8.4%	6.3%
2015	3,528	406	11.5%	18.0%	347	9.8%	20.1%

※ 高齢単身世帯は、65歳以上の一人のみの一般世帯。

高齢夫婦世帯は、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯。

4 住宅 持ち家に住む世帯が増加

(1) 住宅の所有関係

住宅に住む一般世帯の所有関係別世帯数をみると、持ち家に住む世帯の方が多く、1,975世帯[構成比56.9%]と全体の約6割を占めている。

また増減率をみると、2010年に比べ持ち家に住む世帯が+6.2%、持ち家以外に住む世帯が▲1.5%となっている。

住宅に住む一般世帯の所有関係別世帯数

年		総数	持ち家	持ち家以外
実数[世帯]	2005	3,134	1,679	1,455
	2010	3,376	1,859	1,517
	2015	3,470	1,975	1,495
構成比	2005	100%	53.6%	46.4%
	2010	100%	55.1%	44.9%
	2015	100%	56.9%	43.1%
増減率	2005	—	—	—
	2010	7.7%	10.7%	4.3%
	2015	2.8%	6.2%	▲1.5%

4 住宅

(2) 住宅の建て方

住宅に住む一般世帯の住宅の建て方別構成をみると、一戸建に住む世帯が1,874世帯と最も多く、住宅に住む一般世帯の54.0%を占めている。以下、多い順に共同住宅に住む世帯が1,547世帯[構成比44.6%]、その他の住宅に住む世帯が49世帯[同1.4%]となっている。

また増減数[増減率]をみると、2010年に比べ一戸建に住む世帯が+120世帯[+6.8%]、共同住宅に住む世帯が▲33世帯[▲2.1%]となっている。

住宅に住む一般世帯の住宅の建て方別世帯数

年		総数	一戸建	共同住宅	その他
住宅に住む 一般世帯数 [世帯]	2005	3,134	1,661	1,422	51
	2010	3,376	1,754	1,580	42
	2015	3,470	1,874	1,547	49
構成比	2005	100%	53.0%	45.4%	1.6%
	2010	100%	52.0%	46.8%	1.2%
	2015	100%	54.0%	44.6%	1.4%
増減率	2005	—	—	—	—
	2010	7.7%	5.6%	11.1%	▲17.6%
	2015	2.8%	6.8%	▲2.1%	16.7%

5 労働 労働力人口が増加

15歳以上人口は8,086人で、2010年に比べ+373人[+4.8%]となっている。労働力人口は4,639人で、2010年に比べ+35人[+0.8%]、非労働力人口は3,186人で、2010年に比べ+412人[+14.9%]となっている。労働力率は57.4%で、2010年に比べ▲2.3ポイントとなっている。

男性の労働力人口が減少している一方、女性の労働力人口は増加している。

		15歳以上人口			労働力人口			非労働力人口		
年		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
人口 [人]	2005	7,639	3,880	3,759	4,535	2,870	1,665	2,972	926	2,046
	2010	7,713	3,866	3,847	4,604	2,836	1,768	2,774	877	1,897
	2015	8,086	4,000	4,086	4,639	2,808	1,831	3,186	1,068	2,118
増減数 [人]	2005	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	74	▲14	88	69	▲34	103	▲198	▲49	▲149
	2015	373	134	239	35	▲28	63	412	191	221
増減率	2005	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	1.0%	▲0.4%	2.3%	1.5%	▲1.2%	6.2%	▲6.7%	▲5.3%	▲7.3%
	2015	4.8%	3.5%	6.2%	0.8%	▲1.0%	3.6%	14.9%	21.8%	11.6%

労働力率		
総数	男	女
59.4%	74.0%	44.3%
59.7%	73.4%	46.0%
57.4%	70.2%	44.8%
-	-	-
0.3	▲0.6	1.7
▲2.3	▲3.2	▲1.1

※増減の単位は[ポイント]

※労働力率は四捨五入のため、増減の表記と計算結果が一致しないことがある。

※ 15歳以上人口 = 労働力人口 + 非労働力人口 + 労働力状態「不詳」の人口

労働力率 = 労働力人口 / 15歳以上人口

労働力率は、労働力として経済活動に参加している人の比率をみる指標として利用されている。